

◆訃報

前衆議院議長 町村信孝先生ご逝去

内閣官房長官、外相などを務めた自民党の町村信孝（まちむら・のぶたか）前衆議院議長＝衆議院道5区（札幌市厚別区、石狩管内／当選12回、70歳）が1日午後2時15分、脳梗塞（こうそく）のため東京都内の病院でご逝去されました。

町村先生は、1944年（昭和19年）、北海道知事を3期務めた故町村金五氏の次男としてお生まれになり、1969年東京大学経済学部を卒業後、旧通産省（現経済産業省）を経て1983年の衆議院選挙にて初当選されました。

ご当選後、1999年12月から全日本私立幼稚園連合会・私立幼稚園振興議員連盟幹事長、全日本私立幼稚園連合会・幼児教育議員連盟顧問にご就任いただき、日本の幼児教育ひいては子どもたちのために、全力でご支援お力添えをいただきましたことを私たちは忘れることはありません。

また、1997年に文部大臣として初入閣され、その後初代の文部科学大臣、自由民主党総務局長、外務大臣などの要職を歴任され、2014年12月に第75代衆議院議長に就任されました。去る4月21日に軽い脳梗塞とのことで議長を辞任され、療養を続けておられました。

なお、日本の政治家の中でも政策通としても知られ、長年にわたり党税制調査会幹部として税制改正論議を主導され、民主党政権下で行われた社会保障と税の一体改革をめぐる民主、自民、公明の3党協議に加わり、消費税増税に道筋を付けられました。最近では特定秘密保護法に関する党プロジェクトチーム（PT）座長、北海道新幹線の開業前倒しなどを検討する与党新幹線PT座長なども務められ、ご地元北海道のためにもご尽力されました。

全日本私立幼稚園連合会は町村先生の熱い情熱と尊い信念、強いリーダーシップをもって、私立幼稚園の振興ならびにわが国の幼児教育の充実に寄与されたご功績に衷心より敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

[今号は1枚]